

仙北組合 総合病院 だより

発行月日 平成23年8月10日
発行責任者 後藤伸一

No.11

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。



ご挨拶

仙北組合総合病院

整形外科 後藤伸一

3月11日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被害を受けられた皆さま、そのご家族に、心からお見舞いを申し上げます。また、被災地域の日も早い復旧復興をお祈りいたします。

すでに4ヶ月以上は経過していますが、2011年3月11日は忘れられない日になりました。午後2時46分、東北地方太平洋沖合で発生したマグニチュード9.0の巨大地震は、強大な津波となって東北、北関東沿岸を襲い、多くの犠牲と甚大な被害をもたらしました。また、それに伴う福島原発事故のため、非難区域の住民は非難を余儀なくされ、海外では多くの風評が飛び交っています。幸いにも当院も含め秋田県は大きな被害を受けませんでした。ここにもいつ大きな地震がくるかわかりません。私たちは地震を止めることはできませんが、地震に備えることはできます。さらに今回の原発事故で私たちがいかに多くの電力を原発に頼っていたかがわかりました。原発に変わる天然ガスなどがアメリカで開発されていますが、当面、節電が必要です。特に7月1日から9月9日までは昨年マイナス15%の節電が国から求められています。仙北組合総合病院では1、照明器具の節電として不必要と思われる箇所の照明は、こまめに消灯する。業務終了時には、各部署単位ですみやかに消灯する。2、冷房機器の運転を控えめにする。今夏は28℃での運転とする。3、職員がクールビズ(夏の軽装)を行う。以上の3点を実

施します。患者様にもご協力が必要ですのでよろしくお願いいたします。

私は平成13年9月から仙北組合総合病院の整形外科で勤務し、今年8月で丸10年になります。それ以前は仙台市の国立西多賀病院で4年間勤務し、整形外科の中で主に脊椎、脊髄疾患の手術を勉強してきました。当院でも脊椎、脊髄疾患を主に担当しています。ここで10年診療を行って思うことは、高齢者の方がどんどん若くなっていると感じることです。現在の70歳代の方は10年、20年前の60歳代のように。現在の60歳代の方は10年、20年前の50歳代のように。健康寿命という言葉を知っていますか？平均寿命が何年生きられるかを表したものであるのに対して、健康寿命とは心身とも健康で、活動的でいられる期間すなわち食事や入浴など日常生活動作を自分でを行い、認知症でもない期間をいいます。ここ10年、20年で健康寿命が延びているのが、高齢者が若く見える原因かもしれません。しかし、日本人の平均寿命が80歳前後であるのに対して平均健康寿命は74.5歳であり、6年ほどの差があります。すなわち、平均寿命までの最後の6年間は寝たきりであったり、認知症であったり、介護が必要な状態であるということです。日本の厚生労働省は平均寿命と健康寿命の差を短縮させる対策を立てています。われわれもその差を短縮させられるような医療を行いたいと思っています。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン(別の医師の意見)を求める権利

JA秋田厚生連

仙北組合総合病院

秋田県大仙市大曲通町1番30号

TEL 0187-63-2111

FAX 0187-63-5406

ホームページ

URL <http://www.senbokuikumiai-hp.gr.jp/>

E-mail senboku@crocus.ocn.ne.jp

フレッシュさん 登場

- ①出身大学（卒業年）
- ②専門領域
- ③主な医学会指導医・専門医・認定医等
- ④趣味・特技
- ⑤出身地
- ⑥地域の皆さまにメッセージ



かん さき まさ とし
神崎正俊

- ①秋田大学(平成13年卒業)
- ②泌尿器科領域
- ③日本泌尿器科学会専門医
- ④スポーツ
- ⑤千葉県
- ⑥6月より働いています。宜しくお願いします。



ちば しゅう し
千葉修治

- ①秋田大学(平成17年卒業)
- ②泌尿器科
- ③日本泌尿器科学会認定専門医
- ④読書
- ⑤青森県
- ⑥皆様とともに頑張ります。宜しくお願いします。



やま むら あき ひろ
山村明寛

- ①山形大学（平成15年卒業）
- ②外科
- ④スポーツ全般
- ⑤山形県
- ⑥少しでも地域の皆様に貢献できますよう、精一杯日々の診療に当たらせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。



さ とう じゅん
佐藤純

- ①山形大学（平成21年卒業）
- ②外科
- ④ジョギング
- ⑤栃木県
- ⑥よろしくお願ひします。



き そ ひろ のり
木曾博典

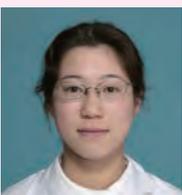
- ①弘前大学（平成17年卒業）
- ②循環器科
- ④ドライブ、釣り
- ⑤岡山県
- ⑥4年ぶりにまた仙北組合総合病院で働かせていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。



き とう まさ ひこ
木藤正彦

- ①秋田大学（平成21年卒業）
- ②産婦人科
- ④建築
- ⑤秋田県
- ⑥皆さんよろしくお願ひいたします。

- ①職場・部署名
- ②出身地
- ③特技・趣味



やま もと あや こ
山本絢子

- ①初期研修医
 - ②大阪府大阪狭山市
 - ③食べること
- はじめまして。4月から2年間初期研修医として勉強させていただきます、山本絢子と申します。出身大学は秋田大学ですが、育ちは大阪ですので、時に言葉がわからないときがあります。通訳や病院案内をはじめ、多々お世話になると存じますが、よろしくお願ひ致します。



くま がい ゆう た
熊谷雄太

- ①臨床工学科
 - ②秋田市桜ガ丘
 - ③スノーボード、バスケット
- はじめまして、熊谷雄太です。北海道の学校を卒業し、地元秋田に戻ってまいりました。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



と しま たく や
戸嶋卓也

- ①放射線科診療放射線技師
 - ②大仙市大曲
 - ③スポーツ（見るのも、やるのも）
- 皆様はじめまして。4月から勤務させていただく戸嶋卓也です。仙台で4年間大学生活を過ごし地元秋田に戻ってきました。社会人1年生で緊張している面もありますが、これからよろしくお願ひいたします。



ほり い ま き こ
堀井真希子

- ①栄養科
 - ②潟上市昭和
 - ③音楽鑑賞、ライブに行くこと
- 栄養科に勤務させていただく堀井です。4年間徳島の大学で栄養学を勉強し、秋田に戻ってきました。秋田で働けることになり、とても嬉しいです。初めてのことでわからないことだらけですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



すだ あい こ
須田亜衣子

- ①検査科臨床検査技師
 - ②大仙市仙北
 - ③音楽鑑賞
- 4月から正職員として勤務させて頂くことになりました。以前は臨時職員として勤務しておりましたので、わかる方も多いと思います。今まで学んだ事を生かして新しい気持ちでがんばりますので、よろしくお願ひいたします。



おお ひ なたしろう こ
大日向翔吾

- ①リハビリテーション科
 - ②横手市大雄
 - ③釣り、買い物
- 念願かなって、秋田に戻ることが出来ました。地元で働き生活していくのが楽しみです。不安もありますが頑張ります。よろしくお願ひします。



- ①第15病棟助産師
- ②横手市平鹿
- ③料理

4月から第15病棟で勤務させていただくことになりました。不安やわからないことも多くありますが、早く慣れるようがんばりたいと思います。よろしく願います。

さとう ゆみ こ
佐藤由美子



- ①第3病棟看護師
- ②大仙市仙北
- ③読書

今年3月に看護学校を卒業しました。秋田市で生活していましたが、仙北組合総合病院で働く事が決まり地元大仙市に戻ってきました。いろいろ不安はありますがひとつずつ乗り越えていけるように頑張ります。ご指導よろしく願います。

ささき りゅみ
佐々木蓮美



- ①第16病棟看護師
- ②大仙市内小友
- ③音楽鑑賞、ショッピング

4月から勤務させていただくことになりました後藤佳奈子です。神奈川の専門学校を卒業し、地元秋田に戻ってまいりました。至らないところも多々あると思いますが、精一杯努力していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

ごとう かな こ
後藤佳奈子



- ①第6病棟看護師
- ②大仙市中仙町
- ③ドライブ、旅行

4月から看護師として働くことができるようになりました千葉県香月です。初心の気持ちを忘れず一から頑張りたいと思っています。よろしく願います。

ちば かづき
千葉香月



- ①第18病棟看護師
- ②大仙市仙北
- ③音楽鑑賞

4月から勤務させていただくことになりました。地元の仙北組合総合病院で働くことができ嬉しく思います。一日一日を大切に、一生懸命頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。

こまつ あい
小松亜依



- ①第3病棟看護師
- ②大仙市西仙北
- ③ドライブ、パドモントン

4月から勤務させて頂くことになりました。大友愛です。地元で働くことができ嬉しく思います。先輩方からたくさんのお話を吸収しながら、1日1日成長していけるよう頑張りたいと思っておりますので、これからよろしく願います。

おとも あい
大友 愛



- ①第4病棟看護師
- ②大仙市中仙町
- ③音楽鑑賞、DVD鑑賞

4月から4病棟で勤務することになりました。地元の病院で看護師として働くことができるとも嬉しいですが、明るく元気に頑張っていきたいと思うので、よろしく願います。

やま しだ り み
山信田理美



- ①医事企画課・受付、小児外来
- ②美郷町六郷
- ③音楽鑑賞

4月から勤務させていただいている高橋舞です。地元で働くことができ嬉しく思います。初めてのことが多くありますが、早く仕事に慣れるよう日々努力します。ご指導よろしく願います。

たか はし まい
高橋 舞



- ①第7病棟看護師
- ②能代市二ツ井
- ③音楽鑑賞

4月から第7病棟に勤務させていただくことになりました。3年間秋田市の看護学校で学び、大曲は初めての地で不安や緊張もありますが、一生懸命頑張りたいと思っておりますのでよろしく願います。

つち だ み ほ
土田美穂



- ①医事企画課・総合受付、6・7病棟
- ②美郷町仙南
- ③ドライブ

子どもの頃からお世話になってきた仙北組合総合病院に勤務させて頂けることになり、嬉しく思っております。まだまだ未熟な所も多いですが、日々努力を積み重ねて、早く一人前になれるよう頑張っております。これからよろしく願います。

たか はし ゆ き
高橋 祐貴



- ①第8病棟看護師
- ②大仙市太田町
- ③音楽鑑賞、テニス

4月から勤務させていただくことになりました。知識・技術不足ではありますが、日々努力し一人前になれるように頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。

たか はし ひろ
高橋 大洋



- ①第16病棟看護師
- ②大山市中仙町
- ③音楽鑑賞

昨年の10月から第16病棟で勤務させていただいております藤澤春香です。先輩方からの御指導により少しずつ出来る業務も増え、充実感と共に責任感も感じております。これからは日々努力し、頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。

ふじ さわ ほる か
藤澤 春香



- ①第17病棟看護師
- ②美郷町六郷
- ③買い物、音楽鑑賞

4月から勤務させていただくことになりました。秋田市の専門学校を卒業し、大好きな地元の仙北組合総合病院で働くことができ嬉しく思っております。一生懸命頑張りますので、よろしく願います。

たか はし あや か
高橋 彩香





みなさんこんにちは 第5病棟です

第5病棟

南棟 5 階、第 5 病棟は耳鼻咽喉科と亜急性期病床の混合病棟です。

耳鼻咽喉科はいわゆる耳・鼻・喉の疾患の患者様が入院しています。喉などの大きな手術を行

うのは県南では当院が唯一であり、大仙・仙北市以外にも湯沢・雄勝地域などから患者様が治療のため入院してきます。亜急性期病床では、急性期の治療を終えた患者様が退院に向けリハビリに励んでいます。私たちは、手足に麻痺が残ったり痛みのために自由に動けない患者様の日常生活が拡大できるよう援助したり、他部門との連絡をとりながら退院の準備が整えられるようお手伝いしています。

スタッフは、耳鼻咽喉科の医師、スポーツ万能でアクティブな横溝先生と、屋内球技！？が得意な垂石先生、そして、新婚生活真只中のシャイな浅香先生の 3 人が常勤しています。看護スタッフは、ベテラン看護師とフレッシュナースが 20 名、看護助手が 2 名おります。患者様の中には病気で声を失う方もおりますが、筆談やジェスチャー、最近では携帯メールやパソコンなどを用いてコミュニケーションを図ることもあります。何より医療スタッフの笑顔を第一に患者様と接することを心がけております。また、退院を前に自宅での生活に不安を抱える患者様・ご家族の思いを大切に、地域の医療または介護の調整を図っています。

3 月 11 日の東日本大震災では震源から 200 キロも離れた当院も大きく揺れ、その後の停電では患者様だけではなく職員の私たちにも多くの動揺が走りました。当病棟でも被災者の方が入院され接する機会がありましたが、その方の震災体験と今後への不安に返す言葉も見つかりませんでした。改めて、当たり前に出る水道、明るい電気、家族と過ごせる日々のありがたさを実感しました。

これからもスタッフ一同、患者様の一日も早い回復を願い、患者様の立場に立った看護を提供していきたくと思っています。



ドックのご案内

●日帰りドック

検査日：毎週月曜日～金曜日
午前 7 時 40 分～午前 11 時頃
(多少時間が前後します。)

料 金：35,700 円

・下記項目追加の場合

子宮がん検診 3,150 円

乳がん検診 3,150 円

肺がん検診 6,300 円

加算となります。

●一泊二日ドック

検査日：毎週月～火曜日、木～金曜日
午前 7 時 40 分～

翌日午前 11 時 30 分頃

(多少時間が前後します。)

料 金：65,100 円 (女性の場合、子宮がん検診が含まれます。)

乳がん検診追加の場合 3,150 円加算となります。

ボランティア募集

身体の不自由な方やお年寄りが車を乗り降りする際の手助けや、車椅子や受付の補助をしてくださるボランティアの方を募集しております。

週 1 日から結構ですので、是非お願いします。

お問い合わせは総務課へ。電話または E メールで。

皆様 こんにちは!!

皆様こんにちはは6病棟です。

旧館6階と呼ばれる6病棟は、南棟6階に位置し、血液疾患や腎疾患、膠原病の患者様を中心に、内科慢性期疾患や肺炎・急性腎盂腎炎といった一般内科の患者様が入院治療を受けられている病棟です。内科医3名と、看護師34名、看護補助員5名のスタッフで患者様のお世話をさせて頂いております。更に、消化器・循環器の患者様も入院され、各主治医の指示を受けながら退院までの継続治療を行っているマンモス病棟でもあります。

第6病棟



仁村先生(内科診療部長)と茂木先生(内科科長)は血液疾患が専門で、血液悪性腫瘍の治癒を目指した強力な化学療法を実施し、必要な患者様には秋田大学血液内科との連携で造血幹細胞移植治療を積極的に勧めております。なお当院は、関節リウマチの治療で近年汎用されてきている生物学的製剤を県内でも有数の症例数で施行していることが特徴となっています。佐々木先生(内科科長)はICD(インフェクションコントロールドクター)として、インフルエンザやノロウイルス胃腸炎など流行期には、院内全体の感染対策に精力的に活動しています。先生方はとても優しく、患者様やご家族の皆様からも厚い信頼を得ております。

さて、私達看護師は、血液疾患で行動範囲が制限される患者様の精神的慰安を目的に、「癒しの環境づくり」を行っております。ささやかではありますが、ホールに四季折々の飾り付けを行っておりますので一度ご覧頂ければ幸いです。また当病棟には、寝たきり状態の患者様も多く、入浴介助にも力を注いでおります。今年度は新たに2名の男性看護師を迎えて力強さもアップし、これまで以上に患者様にとって満足が得られる看護援助を提供できるよう日々努力していきたいと思っております。これからも明るい笑顔と言葉かけ、思いやりと気づきのある看護の提供に努めて参りますので、お気づきの点がありましたら、皆様ご指導をどうかよろしくお願ひいたします。



れんけい室 タイムズ

「Face to Face」

Vol 5

1 室長あいさつ

『がん診療連携について』

佐々木 順 孝

昭和59年以来、がんは本県における死因の第一位で、年間3千人以上の方が亡くなっており、その粗死亡率は平成9年以来連続して全国で最も高くなっています。こうした中、平成19年4月1日にがん対策基本法が施行され、秋田県では、がん対策基本法の基本理念に基づくとともに、本県の地域特性、がん医療の提供の状況などを踏まえ、がん対策を一層充実強化していくため、平成20年4月にごん対策推進計画が定められました。

各医療圏のがん診療を進める上で中心となる医療機関が、がん拠点病院です。これは、地域の病院の機能の充実・強化や診療連携体制を確保し、全国どこに住んでいても均しく質の高い医療を受けることができるよう、国が指定する病院です。緩和ケアチーム、相談支援センターなどの設置等

が義務づけられ、都道府県に概ね1箇所指定される都道府県がん拠点病院と2次医療圏に1箇所程度指定される地域がん診療連携拠点病院があります。当院は平成19年1月に大仙・仙北医療圏の地域がん診療連携拠点病院に指定されました。

当院では病院・かかりつけ医の連携を推進するひとつのツールとして地域連携クリティカルパスを本年4月から一部のがん診療で導入しています。これは、診療段階に応じて患者が受ける診療の流れや、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等の診療の役割分担等を示した、患者と医療機関が共有する治療計画のことで、病院からかかりつけ医に紹介し、化学療法や疼痛管理等を継続する流れを表しています。医療機関が特性・役割分担に応じて診療を受け持つことで、地域における効果的で質の高い医療の提供が期待されています。



2 「地域連携クリティカルパス」研修会

平成23年4月28日(木)大仙市のグランドパレス川端に於いて、諏訪赤十字病院外科部長(前秋田大学医学部附属病院腫瘍センター 副センター長)丸山起誉幸先生を講師に迎え、テーマ「秋田県統一5大がん地域連携クリティカルパス」の研修会が行われました。

大曲・仙北医師会会員、連携実務担当者51名が参加し、5大がん地域連携クリティカルパスの考

え方、利点、運用方法等について学ぶことが出来ました。会場からも具体的な運用等の質問があり大盛況をおさめました。

今後、5大がん地域連携クリティカルパスは、患者さんを中心に病院と地域の医療機関が同じ医療方針で安全で質の高い医療を提供するために必要性が高まると実感できた研修会でした。



トピックス

震災医療支援

当院では、地域災害拠点病院として被災地へ災害救護班（医療支援チーム）が派遣されました。被災地での医療支援の様子をうかがいました。

「東日本大震災 医療救護班に参加して」



外科科長
大村 範 幸

私が救護班に参加したのは、今回の震災に対して初期の段階で貢献できなかった反省のためでした。今回の震災についての感想を少し述べさせていただきます

DMAT(disaster medical assistant team)・救護班に携わり、私が一番印象に残ったのは岩手県の防災対策の準備の良さでした。今回のような海岸沿いの広域災害に対し、傷病者を内陸の災害拠点病院に搬送する訓練、さらに全国へ広域搬送する訓練を震災直前にも行っていたようです。特に私が赴いた岩手県立某病院は、災害対策本部ならびにDMATの統括エリア、トリアージエリア、ヘリポートの離着陸場所などの設定が洗練されており、患者搬入搬出の

動線もしっかりしており、大規模災害を想定して造られた病院という印象でした。病院職員は独自の「ビブス」のような物をして関係者であることを示す等、ハード面・ソフト面



で非常に充実しているのに驚きました。

秋田県および当院を含む大仙市の防災対策は遅れているかもしれません。これまで大災害をほとんど経験していないので仕方のないことかもしれません。

しかしこのままでは局地災害にも対応できないのではないのでしょうか？今回の震災で、当院は反省しなければいけないところがたくさんあったと思います。

夜中に一酸化炭素中毒者が多数発生したにもかかわらず、住民に注意を呼びかけることも出来ませんでした。行政との連携不足だと思います。圏内病院との連携不足から震災時には無駄な救急車の使用も起こってしまったように思います。

当院は災害拠点病院なのです。災害拠点病院とは地震・津波・台風・噴火等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院のことで、各都道府県の二次医療圏ごとに原則1カ所以上整備されています。つまり自分たちの病院が崩壊しない限り、医療圏内で起こった災害に対応する圏内の医療機関を支援すべき病院なのです。

今回震災救護班への参加を申し出た院内職員は非常に多く、この医療圏を守る意志は皆さんの中にもあると思います。

県南を震源とする余震も頻回に起こっています。今が災害・安全対策の見直し、地域全体での訓練を必要とする時と思います。



「医療支援を経験して」



薬剤科主任
小松田 徹

県から当病院に医療支援チームの派遣要請があり、医師1名、看護師2名、薬剤師1名の計4名で3月20日から

23日にかけて、釜石市に医療支援に行って来ました。

20日県庁から医薬品を受け取り、午後3時に病院を出発し5時過ぎに宿泊先の遠野市に到着し、翌日、対策本部のある釜石シープラザに向かいました。対策本部では、避難所のうち釜石交流センターと松原コミュニティ消防センターを受け持つことになり、早速医療支援に向かいました。遠野から対策本部までの景色は平野部であったためか、地震の影響は余り見受けられませんでしたでしたが、対策本部の隣に

ある釜石駅を抜けると景色は一変して、テレビで見ると以上にすさまじい瓦礫と車の山で、改めて想像を超えた津波の脅威を思い知らされました。

避難所では毎日医療支援チームが来ていたためか、当初、患者さんは思っていたほど、診察に訪れませんでした。日を追うごとに診察を希望する患者さんが増えてきました。寒い時期だったのと、環境の悪さが原因なのか、ほとんどは風邪や下痢を訴えていました。県からの医薬品だけでは足りず、地元の調剤薬局から対策本部を通じて医薬品の提供や調剤の協力を受けました。避難されている方の中には当時の津波の状況を詳しく教えてくれ、逆に秋田のほうは地震の影響はなかったのかと心配してくださる方もいました。行く前は落ち込んでいる方が多いのではないかと感じていましたが、復興に向けて頑張ろうとしている方が多いように感じました。3日間と短い期間ではありましたが、またいつの日か復興した釜石を訪れてみたいと思い帰途に着きました。

かかりつけ医(ホームドクター)を持ちましょう!

あなたやご家族の健康管理について、何でも相談できるかかりつけ医(ホームドクター)がいると安心です。専門的な検査、治療が必要な時には適切な病院・診療科を紹介してくれます。

【地域医療連携室へのお問い合わせ】

TEL: 0187-63-2111 (内線2104)
FAX: 0187-63-0004 (専用FAX)
平日: 8:30~16:30



超音波検査について

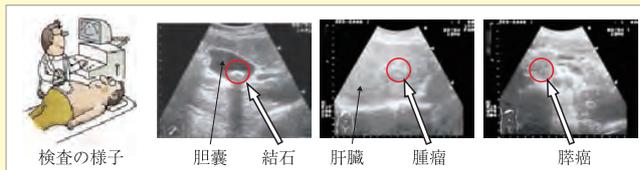
超音波とは、人の耳では聴くことのできない音のことです。人が耳で聞きとることのできる最大の音は2万ヘルツです。人の耳に聞こえる範囲を超える音と言う意味で超音波と呼ばれています。実際に病変を見つけるために、超音波診断装置では200万ヘルツから1000万ヘルツの音を使っています。この超音波(音)を体の中に入射し、やまびこのようにはねかえってきた音(実際には波)を機械で分析しモニターに映して病変を見つけています。

心臓の動きや血液が逆流していることも簡単に映し出されます。もちろんご存知のようにお腹の赤ちゃんを検査していることからわかるように体には全く害はありません。

超音波の検査部位は、大まかに心臓、腹部、体表臓器(乳房、甲状腺等)、泌尿器・産婦人科領域に分けることができますが、音の反射のあまりにも大きい臓器(肺や骨)を除けば大部分の臓器や内部の様子を調べることができます。

具体的に何が解るかという、心臓では心筋の動きや心臓の大きさ、腹部や泌尿器、婦人科領域では臓器の大きさ、臓器内部の腫瘍の有無、形態異常などが挙げられます。腫瘍が存在した場合に腫瘍の大きさや数、内部性状を観察し、それが良性なのか悪性なのかを推定して、血液検査や他の画像検査(CT、MRI等)と併せて診断していきます。

では、実際どのように見えるのか、お腹の超音波画像の一例を示します。



この様にモニターに映し出されます。超音波検査のメリットとしては上述したように無害なので、人間ドックや健診などでも行っています。

診療案内

外来診察医一覧

《祝祭日と土曜日は全科休診です》

平成23年8月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科1診	—	—	—	—	—	
内科2診	山口昭彦	佐々木重喜	斎藤宏文	山口昭彦	渡部 敦	
内科3診	仁村 隆	茂木陸仁	仁村 隆	茂木陸仁	仁村 隆	
内科4診 (専門外来)	—	糖尿病外来 森井 幸	—	腎臓病外来 小松田 敦	糖尿病外来 安藤 清香	
循環器科1	加藤結花	荒川 博	木曾博典	加藤結花	荒川 博	
循環器科2	木曾博典	加藤結花	秋田大学	佐々木一哉	秋田大学	
循環器科3	—	呼吸器内科 (秋田大学)	心臓血管外科 第1・第3・第5	—	呼吸器内科 (秋田大学)	火 12:30から 金 11:30まで
消化器科1診	五十嵐 潔	高平尚弘	五十嵐 潔	高平尚弘	五十嵐 潔	
消化器科2診	伊藤博彰	伊藤博彰	伊藤博彰	沖口将夫	沖口将夫 10:30~中島 康	
神経内科	—	—	—	—	菅原正伯	13:00~完全予約制
小児科1診	五十嵐希世志	深谷博志	五十嵐希世志	矢野珠巨	五十嵐希世志	
小児科2診	大村映子	小山勝幸	小山勝幸 ☆心臓病外来(秋田大学)	大村映子	大村映子	☆第1・3水曜日 13:30~
外科	小野文徳	大村範幸	平賀雅樹	小野地章利 小片 桐	佐藤 学	
呼吸器外科1診	中川 拓	—	中川 拓	—	中川 拓	
泌尿器科1診	熊澤光明	熊澤光明	神崎正俊	熊澤光明	熊澤光明	
泌尿器科2診	神崎正俊	千葉修治	千葉修治	神崎正俊	千葉修治	
産婦人科 (婦科)	山本博毅	小西祥朝	小西祥朝	山本博毅	小西祥朝	
産婦人科 (産科)	小西祥朝	木藤正彦	山本博毅	木藤正彦	山本博毅	
耳鼻咽喉科1診	垂石羊司	垂石羊司	小泉 洸	垂石羊司	小泉 洸	
耳鼻咽喉科2診	横溝道範(第2・4) 小泉 洸(第1・3・5)	横溝道範	横溝道範	小泉 洸	横溝道範	
整形外科1診	梅原寿太郎	佐藤心一	梅原寿太郎	菅原長弘	梅原寿太郎	専門分野 梅原(股関節・膝・小児) 後藤(脊髄) 佐藤(手・足・外傷)
整形外科2診	後藤伸一	那波康隆	後藤伸一	後藤伸一	佐藤心一	
整形外科3診	—	—	佐藤心一	—	—	
皮膚科	—	秋田大学	秋田大学	—	秋田大学	
脳神経外科	佐々木順孝	田村晋也	佐々木順孝	大前智也	佐々木順孝	
麻酔科	秋山博実	大高公成	—	—	秋山博実	
放射線科	黒川博之	黒川博之	黒川博之	黒川博之	黒川博之	
歯科	鈴木靖子 和田 務	鈴木靖子 和田 務	鈴木靖子 和田 務	鈴木靖子 和田 務	鈴木靖子 和田 務	

※医師の異動等により変更となることがあります。